

## 第36回デメンシアカンファレンスを開催

2018年3月14日

3月14日（水）に福井大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第36回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、医療法人社団弘仁会魚津緑ヶ丘病院、国立病院機構北陸病院、福井県立すこやかシルバー病院の9施設が参加しました。

「意識消失を繰り返し認知機能障害と高次脳機能障害を呈した1例」のタイトルで、福井大学からの症例報告が進められ、各大学、病院間で活発に質疑応答や意見交換が行われました。



症例発表の様子（福井大会会場）



福井大会会場の様子



各会場の様子



質疑応答

## 第36回デメンシアカンファレンス 報告要旨

### 『意識喪失を繰り返し認知機能障害と

### 高次脳機能障害を呈した一例』

発表者：北崎佑樹（福井大学医学部附属病院 神経内科）

司 会：濱野忠則（福井大学医学部附属病院 神経内科）

#### 要 旨：

症例は50歳男性。繰り返す痙攣発作にて入院した。当初、神経症状はなかったが、徐々に精神症状や短期記憶障害が出現した。頭部MRI、脳血流SPECT、脳波に異常なく、悪性腫瘍の合併はなかった。軽度の髄液細胞数・蛋白増加があり、自己免疫性脳炎を疑い、ステロイド治療によって症状は著明に改善した。血清・髄液の抗 $\gamma$ -aminobutylic acid-B (GABA<sub>B</sub>)受容体抗体が陽性であった。同抗体陽性の自己免疫性脳炎は画像変化を呈さず、痙攣発作を主体とすることが多いため、本例でも診断に難渋した。画像変化がなくとも自己免疫性脳炎が疑われるばあいには、本疾患を念頭におき抗体検索、免疫治療を行うべきである。



文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム  
北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

## 第36回 テメンシアカンファレンス

2018年3月14日(水) 18:30~20:00

### 「意識消失を繰り返し認知機能障害と 高次脳機能障害を呈した1例」

**担当: 福井大学 内科学(2)**

**対象: 参加施設及びその他の施設の医療関係者  
(医療系大学の学生を含む)**

**会場: 認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所  
(○…参加者受け入れ可)**

- ・金沢大学(医薬保健学域医学類教育棟地下大多目的室)
- ・富山大学(附属病院2階カンファレンスルーム2)
- ・福井大学(附属病院2階キャンサーボード室)
- ・金沢医科大学(基礎研究棟3階大学院セミナー室)
- ・国立病院機構医王病院(臨床研究棟会議室)
- ・石川県立高松病院(医局会議室)
- ・国立病院機構北陸病院(特殊診療棟2階小会議室)
- ・谷野呉山病院(共通棟1階ミーティング室)
- ・魚津緑ヶ丘病院(5階会議室)
- ・福井県立すこやかシルバー病院(管理棟2階応接室)

#### 申し込み不要

※出席される方は、受付で出席簿に氏名等ご記入ください。

※教育コース履修者の方は、本人保管用の受講票を受理の上、捺印を受けてください。

#### ●お問い合わせ先: 北陸認プロ運営事務局

〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL 076-265-2149

FAX 076-234-4208

E-mail ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL <http://ninpro.jp>